

石巻市子どもセンター「らいつ」の概要

○「らいつ」の誕生

・東日本大震災後、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの呼びかけにより「石巻市子どもまちづくりクラブ」が発足し、活動に参加していた子どもたちが中心となって、石巻市子どもセンターを企画・デザインし、2013年12月にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンから石巻市へ寄贈されました。

“らいつ”には、「rights(権利)」、「lights(ひかり)」の2つの意味が込められ、子どもの権利を柱に、子どもの声を聴き、子ども参加で運営されています。

○コンセプト

「石巻の活性化のために中高生が中心となってつくり、運営していく施設」

「みんなが過ごしやすく、子どもの想いを世間の人たちに伝えられる場所」



○主な事業・イベント

- (1) 子ども参加事業 「らいつ会議」・・・らいつが過ごしやすくなるように子どもたちが様々な意見を出し合う会議
「まきトーーーク」・・・まちづくりをテーマに意見やアイデアを提案し、後日、直接市長に提言
- (2) 地域や企業との連携事業 商店街と連携した企画の実施や、ボランティアの受け入れ
- (3) 子育て支援事業 子育て中の親子を対象とした講座や運動あそびを通じて親子が安心できる場を提供し、子どもの育つ力を引き出します。

他にも、いろんな取組を行っています。

- ・子どもたちの「やってみよう！」を実現する「子ども企画」
- ・周年記念イベント「らいつの日」
- ・「親子でほかほか」、「音楽で遊ぼう」、「パパ講座」
- ・「子どもの権利啓発事業」 ・「夏祭り」、「ハロウィン」



○石巻市子どもセンター条例前文(抜粋)

「まちの未来について考えることが地域の活性化につながり、さらに多くの人に私たちのまちのことを知ってもらうことができます。だから、私たち子どもが中心となって活動する子どものための施設をつくっていききたいです。」

石巻市は、この子どもたちの想いを形にするための施設となる石巻市子どもセンターを設置することにより、生まれながらに持っている子どもの権利が尊重され、子ども一人ひとりが幸せで健やかに成長できる社会につながることを期待し、ここに「石巻市子どもセンター条例」を制定します。